

平成26年度事業報告

生活介護事業所 みどり教室

1. 基本方針

重度の障がいがあっても地域の中で普通に暮らせることのできる街づくりを目指し、様々な社会資源を活用しつつ、重度の障がい児者が求めるサービスを提供するとともに、より困難な状況にある方々の福祉に一躍を担うべく主体的に取り組むことを基本理念とする。

サービスを実施提供するうえにおいて、障がい児者の多様なニーズに対して柔軟にかつ丁寧に応えることを基本姿勢とし、粘り強くその事業及びサービスの実施を試み、最大限の努力を行うことを本会の基本方針とするものである。

私たちの姿勢について

私たちは、「障がい」ということばを生きていく上での困難さと捉えその困難な状況下で精一杯生きる対象者の有する権利と人格に対して、最大の敬意をはらうとともに、私たちが行う支援が効果をあげるべく、自己研鑽を行い、私たちの職務が対象者の福祉に貢献することを喜びとして、目前にある使命を、諦めることなく熱意を持って果たしていくことが、私たちの事業に対する姿勢であることを確認する。

2. 施設〈みどり教室〉として大事にしていくこと

① 利用者主体

一人ひとりの想いを尊重した活動を支援します

② 安全、安心の提供

清潔、安全な環境づくりを常に心掛けます

安心感を抱き、笑顔の絶えない日常を支援します

③ 人とのつながりの中で

地域の活動を通し、施設として個人として人とのつながりを深めていくなかで充実した時間を支援します

3. 職員の姿勢として大事にしていくこと

① 1日は挨拶ではじまり、挨拶で終わります。笑顔を保つことなく気持ちのよい挨拶を心掛けます。

② サービスを担う者として相応しい『言葉遣い』や『態度』を意識します。

③ 何事にも精一杯・丁寧に取り組み真摯な態度で向き合います

④ 常に成長できる職員集団をめざします

4. 取り組み内容

みどり教室では、平成26年度においても、全体を3グループに分け、各グループの特性をいかした目標の設定や方針を定め、さまざまなプログラムを取り入れ日中の活動を行いました。平成26年度より、あらたな取り組みとして自閉症の方への支援をおこないました。

①グループ活動報告

＜1グループ＞作業を日中活動の基本として捉え、内職・作品制作を中心に行った。販売活動においては定期的に行うことが定着し、販売への意識が高まった。販売方法としてもワークショップを開催するなど工夫を凝らし、売上に貢献するだけでなくみどり教室の活動自体の周知につなげることができた。又、昨年からの課題として取り組んだ野菜チップスの研究では油を使用せずコンベクションで焼き上げることで酸化による商品の劣化に対応するなど、一定の成果を得ることができた。尚、これらの作業の工程を個別化し、利用者ひとりひとりに合ったプログラムを構成した。しかし、よりやり遂げた充実感を得るためには、作業道具の工夫など今後さらに積極的に取り組んでいく必要性が感じられた。趣味の活動においては、音楽や手話、絵画など、作品展への出展やイベントでの発表を目標に、意欲的に取り組み好評を得ることができ満足につながった。

＜2グループ＞作業を社会人としての役割を意識するきっかけの1つとして捉え、日中の活動の中心として取り組んだ。今年度はキャンドルの商品開発を中心に行いブリザードフラワーをワイングラスにいれインテリア雑貨にするなど様々な商品開発を行った。ただし、キャンドル材料の仕入れや製作のための調査活動も積極的に行ったが、写真を撮影しリストを作るまでに至らず次年度への課題となった。作品制作の工程においては細分化し、ひとつひとつコミュニケーションを大切にしながら行い、利用者が自分の想いを伝えられるよう利用者の声に耳を傾ける姿勢を基本として取り組んだ。趣味の活動では、利用者の主体的な意見を取り入れながら陶芸や調理などを行い、仕上がりをしっかり確認し楽しみながら達成感が得られるよう配慮した。個別の時間を大切にし、スウェーデンハンドセラピーや足浴・手浴などをプログラムに取り入れ提供した。

＜3グループ＞作業が日中活動の大半を占め、内職作業においては納入期限を守りながら指定された個数を仕上げた。グループ内では個別の希望や意見を聞きながら、個人にあった支援を心がけた。昨年に引き続き創作活動では陶芸を中心に行い、釉薬の量、つけ方、絵付け等それぞれの段階でのスキルアップを目指した。販売会では好評を得ることができ、売上の増加など一定の成果が得られた。趣味の活動では、スポーツや絵画、調理などを通して利用者通しが交流できる楽しく笑いあふれる時間を提供し、仲間づくりを支援した。ただし、新しいといえる取り組みは提供できず、来年度への課題となった。

5. 健康衛生管理

利用者の障がい・健康の状態を的確に把握し、看護師と連携し疾病の予防、健康の増進に努めました。（健康・衛生計画表参）

健康・衛生計画実施報告

	内 容	実 施	備 考
健康診断	血液・尿検査内診 等	H26 年 2 月～3 月	仲原クリニック
0 T	姿勢管理等	月 4 回 毎週火曜日	作業療法士
健康チェック・相談	血圧測定・検温	月 4 回 毎週木曜日	看護師・医師
理容・美容	散髪・洗髪等	月 1 回 第 2 火曜日	訪問理容 (KAMIYA)

6. 施設運営管理

① 利用定員

生活介護事業所（ 定員 20 名 ） 利用者 23 名（3 月末）

② 職 員

施設長、 生活支援員（常勤・非常勤） 調理員 、調理補助、看護師、作業療法士

7. 防災関係

防災計画を作成し、防災訓練を実施しました。

〈防災訓練報告〉

H26 年 4 月 防災について、防災設備確認、点検、通報訓練
H26 年 7 月 避難、誘導訓練 （利用者・職員）
H26 年 10 月 避難、誘導訓練 （利用者・職員）
H27 年 1 月 避難、誘導訓練 （利用者・職員）

8. 工 賃

毎月 25 日に工賃を支払いました。（ H26 年度月額平均 ： 1, 848 円 ）

9. 会議等について

みどり教室においては、代表者会議・調整会議・定例会議・ケース検討会議・全体ミーティング・グループミーティングを開催し、円滑な活動の遂行を計りました。

■代表者会議 <2 月・7 月>

- ①年間行事の決定
- ②ケース会議の開催及び件数等決定

■調整会議<月 1 回程度>

- ①月間行事及び予定の決定

■全体ミーティング<毎日>

- ①毎日の連絡事項

■ケース検討会議<月 1 回程度>

- ①各ケースの方向性について

■定例会議<月 2 ～ 3 回>

- ①各行事の内容検討等

■グループミーティング毎日

- ① 1 日の取り組みについての反省及び評価

10. 行事報告

H26年度行事については計画書に基づき下記のとおり実施しました。

		内 部 行 事		外 部 行 事
4 月	17~18	外出レクリエーション②一泊旅行長浜～北近江	20	西六まつり横丁
	2	外出レクリエーション服部緑地	10	文の里商店街『100 円商店街』
5 月	15~16	外出レクリエーション②一泊旅行長浜～北近江	18	阪南青空マーケット
	22	外出レクリエーション新歌舞伎座観劇『坂本冬実』		
6 月	7	みどり教室作品展・バザー		
	25	外出レクリエーションやまとの湯①		
7 月	8	外出レクリエーションやまとの湯②	10	今宮えびす神社作品出展
	1	外出レクリエーションカラオケ①		
8 月	18	外出レクリエーションカラオケ② 外出レクリエーション高校野球観戦		
9 月	22	外出レクリエーション二色浜バーベキュー	29~10.4	第8回みんなの作品展
			18~19	大阪ガスチャリティバザー
	2	外出レクリエーション二色浜バーベキュー	5	あべの今昔まつり
10 月	9~10	外出レクリエーション③一泊旅行長浜～北近江		
	25	みどり教室作品展・バザー	25	阿倍野つながりフェスタ
11 月			3	阿倍野区民体育祭
			8	第15回文化祭アート展
12 月	8	外出レクリエーション①嵐山トロッコ列車	7	長居スポーツセンタークリスマスの集い
	9	外出レクリエーション②嵐山トロッコ列車	20	クリスマスイブライブコンサート
1 月	19	外出レクリエーションドッグカフェ		
2 月	26	外出レクリエーション吉本新喜劇		
3 月	19	外出レクリエーション宝塚		
	20	外出レクリエーションコーヒー博物館		
	26	交流会		

11. ボランティア・実習生関係

①ボランティア

ボランティアを受け入れるにあたっては、わかりやすい冊子（ハンドブック）を作り、主旨等の説明を行いました。今年度も昨年同様行事への参加ボランティアのみにとどまりましたが、作品展・バザーにおいては、地域行事との合同開催（つながりフェスタ）にともない他施設職員も含め4名増の8名のボランティアを受け入れました。

②実習生

市立中学校がおこなっている中学2年生福祉及び職業体験の受け入れを行いました。
また、大阪成蹊短期大学福祉施設実習（2週間）の受け入れを行いました。

③特別支援学校

平野特別支援学校、東住吉特別支援学校等、現場実習・一日の受け入れを行いました。

1 2. 研修報告

H26度研修については下記のとおり実施しました。

- 4月 第3回阿倍野区施設連絡会初任者研修会「事例検討を通してスキルアップをはかる」
- 5月 重心サポーター 泉州ミーティング「施設紹介及び姿勢保持装置製作者の視点から」
第4回阿倍野区施設連絡会初任者研修会「福祉QC手法を学ぶ」
発達障がいのある成人期の支援について～自閉症スペクトラムを中心に～
- 6月 重心サポーター 泉州ミーティング「重心施設における看護師の役割とは」
大阪府集団指導
- 7月 重症心身障がい児者に対する医療的ケア「大阪発達総合医療センター」
重心サポーター 泉州ミーティング「ケースを通して学ぶ」
- 8月 第5回阿倍野区施設連絡会初任者研修会「事例検討演習」
自閉症カンファレンス
- 9月 重心サポーター 泉州ミーティング「ケースを通して学ぶ」
スウェーデンハンドセラピー講座
- 11月 重心サポーター 泉州ミーティング「ケースを通して学ぶ」
第6回阿倍野区施設連絡会初任者研修会「事例検討演習振り返り」
- 12月 阿倍野区施設連絡会研修会「福祉施設の社会化・地域化について」
1月 阿倍野区地域福祉調整チーム研修会「生活困窮者自立支援法について」
2月 支える会セミナー「スウェーデンの重度の障がい児者の暮らし」
重心サポーター 泉州ミーティング「重症心身障がい児者の骨折について学ぶ」
第16回全国障がい者生活支援研究セミナー「本人中心支援と共生社会の構築」
- 3月 阿倍野区施設連絡会研修会「社会福祉は今、地域社会から何を期待されているのか」
大阪重症心身障がい児者を支える会 実践報告会

1 3. その他

⑤地域との連携

地域の行事に関しては積極的に参加し（防災関係等含む）地域の中にある福祉施設としての役割を果たせるよう努めました。今年度はこれまで阿倍野区で行われていた各イベント（あべのトモクラシー・あべの親子フェスタ・あべの愛あい博覧会）をひとつにした『つながりフェスタ』に、施設バルで参加しました。これまでみどり教室に足を運んだことがない方々も多く来

所され、施設の周知につながりました。

＜地域参加行事＞ 西六まつり横丁、 文の里商店街『100 円商店街』、 阪南青空マーケット、
あべの今昔まつり、 阿倍野つながりフェスタ、 阿倍野区民体育祭

①ひやりハット報告書の作成

日常の中で気づくひやりハットにについて報告記録し事故防止に努め、毎日のミーティングにおいて確認し記録を行いました。（ H26 年度報告件数 ： 28 件 ）

②事故報告書の作成

事故が発生した際には正確に検証・記録し、事故の再防止を図りました。

（ H 2 6 年度報告件数 ： 4 件 ）

咲 笑 （自閉症の方への取り組み）

<取り組み内容>

自主製品作成を含め、作業を中心とした活動を行なった。一日のスケジュールを個別の特性にあった方法で提示し、活動内容を示すことを基本とし、スケジュールに沿って活動をすすめました。ひとりひとりの持つ特性や文化、視点をより深く理解し、分かりやすさの中で十分に自己を表現できる安心と成長の空間を意識しながら支援しました。

①生産活動報告

*クッキーの生産及び販売

生産エリア、準備エリア、片付けエリアを設定し（カーペットにて色分け等）活動をおこなった。また、個人にあった提示方法で作成工程をわかりやすくするなど視覚的明瞭化の中、作業を行った。準備、調理においてはスケジュールの提示、片付けではワークシステムを用いた。アレルギー対応として、卵を使用しないクッキーの生産に取り組み、幅広い顧客の獲得を目指したが、ラッピングや販売方法など商品化にむけての課題が確認できた。

*アクセサリーの生産及び販売

個別のワークシステムを用い作業をおこなった。『終わり』を明確にし、完成までを確認できるプログラムを構成した。バレッタ（髪留め）を中心に作成し、阿倍野区内の行事にて販売し好評を得ることができた。しかし、紙粘土や毛糸を使った手作りのオリジナルパーツなどには着手できず、来年度の課題となった。

*内 職

作品作成と同様にワークシステムを用い作業をおこなった。カゴやマッチングシートなどひとりひとりにあった道具を使いおこなった。活動と休憩時間のメリハリがつくようスケジュール細かいの調整などを行い、組織化した中で作業を行った。

③創作活動報告

*和紙を利用したちぎり絵の制作

自己の表現と集中力、楽しさと達成感を高め、心身のリフレッシュを図るため、創作活動を行った。和紙を細かくちぎり、色別に分けておき、描いた絵に細かくちぎった和紙を貼っていく予定であったが、今年度においてはちぎる段階までとなった。来年度も引き続き行う。

④趣味活動報告

*調理

季節に応じたメニューを利用者の希望を聞きながら決定し、個別化したシステムをそれぞれ用いながら行った。咲笑では全員が同じ場所にそろって行う唯一のプログラムとなり、同じ場所や時間をを共有するということを目的として行った。

*スポーツ

長居スポーツセンターにて卓球を利用者それぞれの希望に応じ行った。

*行事等レクリエーション（みどり教室と合同にて開催分含む）

利用者の希望を聞き、内容を検討しながら随時実施した。（季節行事等）